

6月町議会報告

町議会議員 常山知子

6月20日～21日の会期で皆野町議会の6月定例会が開かれました。一般質問は4名（常山、宮原、横田、内海）の各議員が行いました。町長提出議案は7件（議案6件、同意1件）でした。議案7件はすべて可決、同意されました。



■同意第17号

教育委員会委員の任命

小林 歌織 氏（皆野）再任

《主な議案》

■議案第19号

皆野町ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正

■議案第20号

皆野町子ども医療費支給に関する条例の一部改正

■議案第21号

皆野町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正
この3議案の条例改正は、今まで秩父地域内の病院・診療所また薬局等で受診した場合、一部負担金を支払わず、町が医療費を医療機関等に支払っていました。（二）

れを現物給付といっています）

令和4年10月診療分から（ひとり親家庭の場合は令和5年1月から）埼玉県内全域に拡大されます。

■議案第22号

皆野町介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合、保険料の減免を令和5年3月31日まで延長します。

■議案第24号

秩父広域市町村圏組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更

令和5年4月1日からし尿の収集及び処理を秩父広域市町村圏組合で共同処理するための事務規約

の変更です。

常山議員は反対討論を行い、この議案に反対しました。

「今年1月25日、秩父地域し尿処理事業の統合に関する覚え書きの締結が、議会への説明もなく行われました。秩父地区のし尿処理については、人口減少、施設の老朽化、処理量の減少という状況にあります。これから新しい施設ができるまで町は維持費などいくら広域に出すのか不透明なことが多い。水道の広域化、そして今度のし尿処理事業も広域化され、議会や町民によくわからないままに事業が進められていく

常山議員の一般会計補正予算に対する質問

■ 物価高騰の中で給食費の保護者負担軽減について

給食センターでは大変苦勞して現状を維持しているようですが、厳しい状況だと聞いています。必要な予算を確保し、保護者に負担がかからないよう対応してください

い。

■ つかない材料など値上がり分の補填について現在検討しているところですが、いつの価格を基準にして、いくら余計にかかってしまつのか具体的な数字は把握していません。

■議案第23号

令和4年度一般会計補正予算

《主なもの》

- 子育て世帯への臨時特別給付金 450万円
低所得者を対象に一人5万円
- 保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金 4,814千円
保育士だけでなくその施設で働く人全員が対象
- 住民税非課税世帯臨時特例給付金 500万円
約50世帯
- 秩父音頭まつり補助金 180万円
当初予算と合わせて合計600万円になります

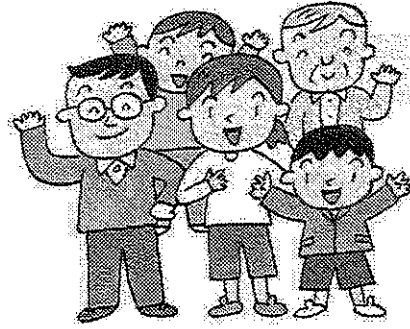
「ここに不安を持つものです」
反対1 賛成10

常山知子議員の一般質問

町政に臨む基本姿勢は

質 町政に臨む基本姿勢について伺います。

答 当町は少子高齢化、人口減少が進み令和4年4月過疎地域に指定されましたが、町には活性化し得る資源がたくさんあると考えています。これまで町を支えてきた皆さんの声にしっかりと耳を傾け、手を取り合って町づくりを進めて参ります。その中で町にしかない魅力を生み出していけると考えています。あらゆる人たちが安



心・安全に暮らせる町、若者が定住し元気に暮らせる町、笑顔があふれる町、誇りを持つ町づくりを進めて参ります。

質 北海道東川町の町長は就任時「前例がない」「他の市町村でやってない」「予算がない」の三つのないを廃止すると言。町民にとって良いことか、どうしたら出来るか、予算はどうか、職員と一緒に考え取り組んでいただきたい。

答 町民に何が出来るか。皆野町だからこそ出来る事をしっかりと考えて進めていきたい。

公共交通の見直しについて

質 町のどくに住んでいても、車の運転をしなくても、買い物、病院、通学、催し物への参加、友人との交流など気軽に出かける事が出来、そのことが町の活性化にもつながるような公共交通を作るのが大切です。どのような公共交通の見直しを考えていますか。

答 公共交通は地域活性化のために不可欠な社会インフラであり、移動が制限されている人の足そのものであると考えます。公共交通

のあり方についての議論は今後の町づくりにあたり必要なものと考えます。協議の場の設置に向け、具体的な手法について検討して参ります。

質 公共交通の見直しは、計画を立て様々な意見を聞き実証実験を行い、本格的に動くには時間がかかります。当面は今ある公共交通の利用となります。その中で、お

商工業の発展については

質 地元企業、商業、飲食店の発展サポートについて、具体的な内容、また「店舗リフォーム助成」の考えについて伺います。

答 地元企業、商業、飲食店の発展は地域経済の活性化や雇用の喪失、若者移住・定住に関わる重要な課題です。具体的な内容は今後の検討となりますが、人の流れを生み出す工夫、店の魅力アップや新しい商品の開発のサポートなどこれまでの町の取り組みや課題等よく検証の上、店舗リフォームについても他自治体の取り組みを研究しながら、当町の実情に合った実効性のある支援に取り組んでいきます。

知子のひとりごと



常山知子

一人暮らしの人からSOSがきました。脊柱管狭窄症が原因で足が痛くて歩くのが大変。車の運転も無理。通院や買い物は友達に乘せてもらったり、タクシーを使ったりしている。タクシーは1回3,000円弱かかる。免許証の返納はまだ考えていない。どうしたらいいの。

また、他の人からは車の事故を起こして家族は免許証の返納を考えるようにと心配している。でも、運転が出来なくなったら身動きができない。もう少し運転させてくれ！。

10年近く議会で町民の外出支援を訴えてきました。最近の話はより深刻になってきたように感じます。今回の6月定例会。新町長の重点施策にある「公共交通の見直し」どんな見直しを考えているのか聞きました。「公共交通の協議の場の設置に向け具体的な手法について検討していく・・・」という答弁をもらいました。一歩前へ進んだようです。

新しい時代を前進させる

市民と野党の共闘を!

生活・法律相談

お気軽にご相談ください

常山知子 電話62-6733